

30周年を祝う

# 同好会だより

## 第24号

発行 関西民放クラブ

同好会・ホームページ委員会

事務局: 千540-0039 大阪市中央区東高麗橋2-37 三精ビル 302

TEL 06-4790-5641 FAX 06-4790-5674

ホームページ www.kansai-minpo.com

平成30年(2018年)4月発行

### 社交ダンス同好会

辻 一郎

社交ダンス同好会は観桜会から出発した。いまから25年前の1993年4月8日、「桜を見にいっちゃい」との声が各局出身のダンス好き11人にかかり、千里丘にあった毎日放送の社屋に集まった。この面々がこの日。その場で結成したのが、ダンス同好会だった。

以来、同好会はさまざまなイベントを開いてきた。例えば2002年には神戸から横浜まで飛鳥のワンナイトクルーズに参加して、船上パーティを楽しんだし、2006年には関東民放クラブからの呼びかけに応じ、信州蓼科のTBS寮で東阪合同のダンスパーティを開催した。2013年には女性のメンバー全員がピンクのドレスを発売し、これを着て本部先生の記念パーティに出席した。今年9月には、熱海で久々の東阪合同の催しを開くことを予定している。

この伝統ある我らが同好会には、ダンス上手もいるが下手もいる。同好会代表をつとめる私は、晩学で覚えが悪く、下手の方の代表だ。にもかかわらず続けているのは、健康のためである。隔週に1回、動きまわる1時間半は、楽しい上にまことに貴重だ。おかげで80代半ばを過ぎて元気だし、お世辞かもしれないが姿勢がよくなったと女性たちから褒められてもいる。この喜びを味わいたい方は是非ご入会を。経験者はもちろんだが、初心者も大歓迎。練習は阪急正雀駅近くのホールで、第2・4木曜日の午後1時半から。

美人の先生も、ご入会をお待ちしています。

お仲間歓迎 世話人代表 辻 一郎(MBS)

### 散策同好会

～ご入会大歓迎!～

佐伯 武夫

平成元年5月、第1回散策同好会がスタートしてから今年の4月で173回を迎えます。当初は20名程度の仲間が集まって、京都界限の名所巡りから始まったそうです。

その後次第に会員も増え、一時は100名を超え、平成12年4月の第66回神戸港クルージングには79名が参加、絶好の天気にも恵まれ、明石海峡大橋を眺めながら、中華バイキングを楽しみました。平成17年11月は100回記念企画として、それまでに退会した方々にも声をかけ、円山公園内の高級料亭「左阿彌」で、いつもより豪華な京料理を楽しみました。参加者は60名でした。

そして平成26年5月の第150回は、関西民放クラブの特別イベントとして、全クラブ会員に呼びかけ、記念企画として、琵琶湖汽船の豪華客船「ビアンカ」によるクルージングとなりました。ピアノコンサート、ダンスパーティー、カラオケ大会等々、大いに盛り上がりました。参加者は、ダンス同好会の先生の教室の皆さんもゲストとして参加され、94名の大人数となりました。

最近では、会員の高齢化に伴い退会者が増え、会員数は60名を切るまでになりました。世話人一同、無い知恵を絞り、可能な限り安くて美味しい食事を探したり、散策同好会なのに歩く距離も短くしたりしています。歩くことは健康の基本です。共に語り合う楽しい散策同好会を願っています。沢山の皆さんの入会をお待ちしています。

お仲間歓迎 世話人代表 八木 晋一(TKU)

### 写真同好会

細田 教司

写真同好会は平成13年4月に誕生しました。平成18年に発行された「同好会だより」1号には、世話人代表の高橋秀明さんの記事があり、当時はフィルムカメラからデジタルカメラへの移行期だったそうです。初めて一泊で串本の橋杭岩へ撮影旅行に行った時、夕食の団欒の際、デジタルカメラの特徴などを話し合ったそうです。例会も、以前はスライド又はプリントした写真を持ち寄り、批評し合っていました。2、3年前からデジタルに対応して大型液晶テレビに変更しています。

写真同好会は現在、この原稿を書いている時点にも入会希望者が有り、その方を入れて総勢19名になりました。高齢化の為に近年は同好会員の減少に悩んでいる中、有り難いことです。

例会は毎月第1火曜日に事務局で、皆さんの日ごろの写真を持ち寄り、あれこれ勝手なこと言いながら楽しんでいます。

春秋の年2回は一泊旅行または日帰りで撮影会を行って腕を磨き、翌月の例会には作品を持ち寄り、投票で順位を決めています。

今年の春の撮影会は5月15日(火)～16日(水)、四国・父母ヶ浜に決まりました。全コース貸切バスです。

秋には30周年記念企画として、写真同好会で初めての写真展を、9月28日～10月4日まで、心斎橋プラザビル本館9階の「フジフィルム大阪サービスステーション・コミュニティーギャラリー」で開催することになりました。詳細は追ってお知らせします。

お仲間歓迎 世話人代表 細田 教司(ABC)

### コーラス同好会「コールまかーな」

～30周年に向けて～

山田 芳雄

昨年10月25日、関西民放クラブ設立30周年のイベントとして、我々は「コールまかーな25周年記念コンサート」を盛大に実施しました。その節は多数ご来場いただき、誠に有難うございました。また物心共にご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、イベントも終わり、今年はいよいよ30周年の本番の年です。振り返ると、30年はあつという間の出来事でした。昭和63年(1988年)、OBCを早期退職した私の許に、「民放のOB会を作るので手を貸して欲しい」という話が飛び込んできました。設立総会の準備、会報の発刊作業、同好会の発足活動など、慌ただしい時を過ごし、設立総会を迎えたときは、正に感無量でした。当時の理事会の模様などを収めたVHSが、まだ私の手許に残っております。

発足当初、ゴルフ、散策など若干の同好会はスタートしていましたが、理事会では「もっと同好会を作り、会員拡大を図ろう」という大号令をかけ、私も囲碁、コーラス、テニスの同好会発足に走り回りました。

そんな30年でしたが、コーラスはお陰様で順調に発展しました。春の総会では懐かしの映像とともに、懐かしの曲をご披露します。秋には「ABCホームソングを歌う」と題する30周年記念イベントを計画しています。よろしくご支援ください。

お仲間歓迎 世話人代表 山田 芳雄(OBC)

# メディアウオッチング

～10年目に入る「メディアウオッチング」～

2008年に発足した「メディアウオッチング」は今年(2018年)10年目を迎えます。これまで取り上げたテーマの一部を紹介します。

▶新聞メディアからみた放送(岸本卓也) ▶岐路に立つテレビ 放送の地方分権(自由討議) ▶広告代理店トップのメディア論(藤原啓介) ▶大学研究者が今のテレビに物申す(黒田勇) ▶東日本大震災発生直後の報道を点検(自由討議) ▶放送倫理から考える放送局のあり方(音好宏) ▶アナログ時代のテレビ絵史(成瀬國晴) ▶ロンドン五輪のテレビ中継を検証(自由討議)

## 絵画同好会「波の会」

宮本 滋郎

絵画同好会は平成8年に実働会員8名でスタートしました。その後の増減を経て現在の実働会員は10名です。この間3人の方にご指導いただきましたが、一昨年池内先生が亡くなられてからは、講師不在で描いています。活動の拠点は「岸辺市民センター」で変わらず、毎月第1と第3土曜日の午後、写生会をしています。

当初は年に一度の一泊スケッチ旅行と、春秋2回の発表会が基本でしたが、会員の高齢化と共に、現在は一日の野外スケッチと一度の作品展が基本です。平成18年には大阪府立現代美術センターで10周年記念展を行いました。この時の会員は18名でした。発表会はいろいろな所でやりましたが、アクティ大阪スカイギャラリーが閉鎖になって以降、24年からは梅田茶屋町の「4匹の猫」に移り現在に至っています。

「波の会」の一番の特色は、各人が自由に描いているところです。いわゆるカルチャースクールや〇〇教室では、よく全員の絵に同じ傾向が見受けられますが、私達はそれぞれの個性、持ち味で描いています。従って発表会ではバラエティーに富んだ作品が並び、来訪者の方の好評を得ています。好きなように伸び伸び描く。それが「波の会」です。絵に興味をお持ちの方、この機会に是非ご参加下さい。お待ちしております。

お仲間歓迎 世話人代表 宮本 滋郎(MBS)

## 英語クラブ同好会

角田 温美

当クラブは、2001年、前田次郎氏(MBS)の指導のもとに発足しましたが、2009年末、病の為に引退。後任を探し求めて居りましたところ、前田氏と同じMBS、New York支局で活躍された大河内俊彦氏が会員に居ることが判明、無理を承知でお願いしましたところ、「先生と呼ばない」ことを条件にやっと承諾をいただき今日に至っています。氏のコーラスで鍛えられた魅力的な低音とユーモアたっぷりの(時には駄じゃれ?)の内容の楽しい2時間になっています。

「日本語に方言があるように、英語に日本英語があってもおかしくない。所詮 Japanese Englishでもいいんじゃないでしょうか、臆せず先ずしゃべりましょう。「ハートがあれば必ず通じます」これがMr.大河内のモットーです。

この度の30周年事業に際して、当クラブ全員で話し合った結果、関西民放クラブの歌「いきいき夢を」を英語で歌ってみては…ということになり、早速Mr.大河内に英訳をお願いしました。

Mr.大河内の言、「引き受けたものの…イヤ…むつかしかった。直訳ではとても歌えないし…とにかく意味が通じれば…の独断と偏見で何とか今回の訳詞になりました。Japanese English(和製英語)で辛抱していただきますか」

そうして、やっと出来上がりました。春の懇親会でお披露目します。お楽しみに!!

お仲間歓迎 世話人代表 角田 温美(OBC)

貝谷 昌治

そしてメンバーで東日本大震災から5年を経た原発事故の最前線を視察しました。

特記事項としては、放送人51人の聞き取り調査(2013～2015年)を『民間放送のかがやいていたころ～ゼロからの歴史51人の証言』としてまとめ、出版(2015年10月)したことを報告します。2017年以降、現役の放送人を講師に招いて、激変するメディア環境における地上波テレビの役割を探っています。

お仲間歓迎 世話人代表 貝谷 昌治(MBS)

## 太平記を読む会

～太平記を「楽しむ会」が「読む会」に～

野口 富生

わたし達は去年12月までの6年余にわたって全国に広がる太平記ゆかりの土地を訪ねてきました。この経験で培った南北朝時代の地理感覚を踏まえ、今度は太平記の原典に挑戦します。この4月から、偶数月の第3日曜日に関西民放クラブの事務局をお借りし、全四十巻の長大な歴史物語を声を出して読み合っていくという同好会です。

太平記には多くの写本があり、どの写本をもとにした出版かで内容に差があります。幸い、古写本として定評のある西源院本の「太平記」が2014年に岩波書店から全六冊の文庫本として刊行されました。校注者の兵藤裕己氏は国文学者、歴史家として太平記を広い視野から研究してきた気鋭の学者です。また、現代人にはわかりにくいと思われる語句には丁寧な注が付いており、巻末の資料、解説も充実しています。そこで、これをテキストとすることにいたしました。

難解と見られがちな太平記ですが、錯綜した軍事や混迷する政治の話ばかりでなく、恋文を代筆する吉田兼好、ばさら大名の奇矯な行動、天狗や怨霊の暗躍などおもしろいエピソードも満載です。興味のある方は、ぜひ、お気軽に覗いてみてください。

お仲間歓迎 世話人代表 武田 朋子(MBS)

## 川柳同好会「騒の会」

(蟹歩)手島敏夫

「理事会は重量だけなら日本一」

川柳は、江戸中期、柄井川柳らが連歌の前句付を独立させて「誹風柳多留」を刊行したのが始まりと言われていました。

同じ連歌の発句から独立した俳諧が、季語や切字といった制約があるのに対して、川柳は「うがち」「おかしみ」「かるみ」の三味の特徴で、字余りや破調など形式にとらわれない自由さが、文化文政期の江戸庶民に受けて大流行し「江戸古川柳」として今に残っています。

「初手柄場所を救った橋ノ心」

川柳は、人情の機微や、心の動き、色模様や、権力へのおちょくり、時には鋭い文明批評まで身近な素材を五七五にまとめたもので、新聞朝刊の文化面には川柳欄があるほか、サラリーマン川柳といった公募型のコンテストが人気を集めています。

「親方の総身の知恵がこの結果」

因みに本文中の三句は「相撲」をテーマにした拙句ですが、ホラ！簡単でしょ！この程度だったらすぐできますよネ。

身近にある素材を五七五にまとめてみませんか。作品ができたら川柳同好会「騒の会」をのぞいてみてください。

第2・4金曜日、午後1時30分～4時まで事務局で句会を開いています。

そのあと反省会と称した「飲み会」も付いています。

お仲間歓迎 世話人代表 佐脇 俊朗(YTV)



## 落語(上方芸能)を楽しむ会

桑畑 隆征

平成22年3月に旗揚げしたこの会も、今年4月で50回目を迎えました。50回はちょっと趣向を変えて「落語家が案内する大川花見クルーズ」を実施しました。40人を超える会員が参加し、黄昏の道頓堀や大川の桜を楽しみました。

この会は繁昌亭をホームグラウンドに落語を楽しんでいます。その他、新春の文楽鑑賞や夏には新世界で大衆演劇を見た後、ビール会なども行っています。今後はさらに講談、浪曲、狂言などいろいろな分野に広げていきたいと思っています。「笑いを制する者は健康を制す」と言われます。是非この会に入って大いに笑ってみませんか。年会費は1,000円で後は催しごとに実費をいただいています。

申し込みは事務局まで。

幹事 上村十三子(MBS) 山本民時(OBC) 桑畑隆征(MBC)

お仲間歓迎 世話人代表 桑畑 隆征(MBC)

## 陶芸同好会

福岡 武雄

現役の頃から縁あって陶芸家と親しくお付き合いができ、また「立杭」の窯元へは時折通って作陶の面白さに惹かれました。退職したら陶芸で楽しむぞ〜 これぞ我が陶芸人生の始まりです。退職して直ぐ民放クラブに入会、陶芸同好会にも参加し、先輩の方々との交流で楽しみながらあっと言う間に22年が経ちました。

プロの技量には到底及ばずその引き合いすら失礼ですが、焼き物についての知識と技は其れなりに具わり、今や陶芸が日々暮らしの楽しみの一つとなっています。

“焼き物”は「粘土」から「形」を作る楽しみですが、経験を重ねても窯出しを待つワクワク感は何時も新鮮。作品との対面は大喜びしたり、こんな筈じゃない、とガッカリしたり…の繰り返しです。その儼ならないところが陶芸への魅力であり面白さだと思います。

当歴20年にして天目茶碗(油滴天目・禾目天目等々)に挑みました。陶土の選び釉薬の掛け具合、焼成温度や時間の設定など試行錯誤の連続で、もうこの辺で妥協しよう…迄がひと苦勞でしたが、我が「茶碗」でのお点前は格別の味わいです。

関西民放クラブは創立30周年の輝かしい歴史と伝統の節目です。末永い繁栄を願う同好会に所属し陶芸に精進したいものです。

恒例の「有閑人展」は、第40回を迎え展示会が楽しみです。

同好会へのお誘いです、入会は歓迎です。

お仲間歓迎 世話人代表 福岡 武雄(KTV)

## ゴルフ同好会

～最多優勝は吉川良治さん(KTV)!～

温井 甚佑

昭和63年秋に始まったゴルフ同好会、この春で64回大会を迎えました。会員数(75名)こそ民放クラブで最大ですが、内実は例年の参加者集めに汲々としています。

高齢化と若手?不足、何とかしなければと思案していますが妙案がありません。そこでゴルフ同好会の希望の☆を紹介して、次世代につなげたい!

このゴルフ会の最多優勝者・吉川良治さんは現在90歳、これまで7回優勝されました。最近では、平成28年春の60回記念大会で優勝、実に88歳の時です。83歳の時には連続優勝(50・51回大会)されています。これまで欠席されたのは骨折などで数回のみ、元気の秘訣は一体何なのでしょう?

お仲間歓迎 世話人代表 温井 甚佑(MBS)

## 美味しい旅の会

森本 征夫

素晴らしい絶景を求め!

甘露な地酒を求め!

伝統の祭りを求め!

美味な郷土料理を求め!

みんなで旅を楽しんでいます。



昨年は「郡上踊りと鮎づくし料理」郡上踊りで汗を流し、長良川の天然鮎で舌づつみ、酒は郡上の地酒「母情」を楽しみました。どぶろくを飲み過ぎたり、きつねにだまされたり、鬼に追っかけられたり、踊り過ぎて腰が痛くなったりといろいろありましたが楽しい旅を続けています。

現在会員は24名です。会員に登録された方には案内をお送りします。みなさまの参加をお待ちしています。

お仲間歓迎 世話人代表 森本 征夫(MBS)

## 漱石を読む会

今井 敦子

いま、漱石を読む会を指導くださっている繁昌亭支配人の恩田雅和先生にお逢いしたのは、民放クラブが行っている定例懇話会でした。

その時の話は落語でしたが、漱石にも造詣が深いとわかり、誰からだったか、恩田先生を中心に、漱石を読む会を開こうという話になり、北野栄三会長から世話係は君がやってくれないかと言われて引き受けることとなりました。

さあ大変、私は漱石のことは何も知りませんでした。早速図書館へ行き、とりあえず作品と関連本を必死で読みました。図書館へは2週間ほど通いました。私は不安を抱えたまま、会は2008年6月に発足、12名の方が参加くださいました。

1回目の作品は、「坊ちゃん」でした。恩田先生が論稿「社会と自分」で平成18年度の第1回古本文学大賞や、平成21年の第17回大桑文化奨励賞を受けておられること、この時初めて知りました。

漱石の知られざるエピソードや作中人物への思い入れなど、肩の凝らない知的なお話を10年にわたって楽しんできました。また、年に一度作品の舞台となった地へ課外授業として出かけたりしています。

今年の6月11日(月)・12日(火)には関西民放クラブ30周年記念企画として、「くまもと漱石倶楽部」の方々との交流で「草枕」の舞台など、ゆかりの地を訪れる会を行います。

ゲスト大歓迎です。

お仲間歓迎 世話人代表 今井 敦子(ABC)

「いやぁ～、ペリアの帝王ですよ。我流ですし、ただ遠心力を使うことだけに集中しています」と謙虚の弁。「この春はインフルエンザで腰をいためたので欠席しますが、体調を整えて90歳台優勝を目指します」とのこと。見習いたいものです。

これまでの優勝者ベスト3社は、1位.KTV22回、2位.ABC16回、3位.MBS12回(詳しくは懇親会会場内に一覧表を掲示しています)。

最後にお知らせですが、この5月29日(火)に「第5回東名阪親睦ゴルフ会」が名古屋・森林公園GCで開催されます。連続優勝を目指したいもの。多数の参加をお願いします。

第5回東名阪親睦ゴルフ会 と き:2018年5月29日(火)  
ところ:名古屋・森林公園GC

お仲間歓迎 世話人代表 温井 甚佑(MBS)

## 丹波黒豆栽培企画

佐脇 俊朗

同好会活動としては一風変わったこの同好会、労働を趣味にしよう・・・というもの。農作業は労働ですが、園芸と考えれば楽しい趣味となります。しかも収穫は10月の枝豆と12月の正月用の黒豆と、二度も楽しめるおまけ付き。

毎年6月、前もって整備された畑の畝に10センチくらいに成長した黒豆の苗を植え、7月に雑草取り・土寄せ作業をすれば10月中旬に先ず「枝豆」の収穫、残りをそのまま11月下旬まで畑に置いておけば、正月用の「黒豆」が収穫できます。たった二度の農作業で二度も収穫が楽しめるこの企画、最近では地区の農協が「丹波の黒豆」としてブランド化、その価値を高めています。

農産物のこと故、その年によって出来栄えや収穫量に差が出ますが、昨年は久しぶりの大豊作で質・量とも満足の出来る「丹波の黒豆」を収穫することが出来ました。畑の所在地は三田市のド真ん中、JRと神戸電鉄三田駅から広い道路を真っ直ぐ西へ徒歩12～3分、三田農協の本拠「さんだパスカル」のすぐ近くの畑です。ここには農協直営の農産物販売所とレストラン、それに数十台の無料駐車場があり、とても便利なところですよ。

農産物販売所は、当日収穫された野菜類が夫々の生産者別のブースに置かれ、新鮮で安いのが何よりの特徴です。

農作業は毎回土曜日の10時からで昼前には終了し、その後のレストランでの昼食も毎回の楽しみです。参加希望の方は、5月末日までに民放クラブ事務局へお申し込み下さい。各作業日などは、折り返し世話人からご連絡致します。

お仲間歓迎 世話人代表 佐脇 俊朗 (YTV)

## 俳句同好会「放の会」

～「放の会」の現状～

早川 周三

関西民放クラブは昭和63年に創設され、今年で30周年を迎えますが、「散策同好会」を皮切りに色々な同好会が出来、それぞれが活動を始めました。俳句の同好会を創ろうと言う機運は当初からありました。しかし、主宰にお迎えする先生が中々見付からず、入会しようとの希望者も少なく、発足するまで約7年を要しました。阪神大震災の有った平成7年5月に至って、会員8名、その内の2名以外は全くの初心者ばかりでスタートしました。

山口誓子先生の高弟の品川鈴子先生を主宰に迎え、会の名前も全員の賛成で「放の会」と決まりました。以後約20年会員の異動はありましたが、約20年間、品川先生が他界されるまで十数人の会員で維持されてきました。

平成26年品川先生亡き後、何方を主宰に迎えるか、色々手を尽くしましたが、幸いにして吉田成子先生に快くお引き受け頂き、会員は月2回の句会、添削教室に和気藹々作句にいそしんでおります。

お仲間歓迎 世話人代表 早川 周三 (MBS)

## 編集後記

関西民放クラブは30周年を迎えました。同好会第1号は、クラブ創設の年に誕生した「ゴルフ同好会」です。続いて翌年には散策同好会や囲碁同好会が発足しています。その後も陶芸、テニス、ダンスなど次々と発足し、今や22の同好会に発展しています。平成18年4月には「同好会だより」が発行され、毎号例会の様子やトピックスなどを掲載してきました。

第24号は30周年に因んで、これまでの歩みや今後の企画などを盛り込みました。関西民放クラブには多様な趣味やニーズ対応した多くの同好会が活動しています。第2の人生を、楽しく生き生きと生きるために、うってつけの同好会が見つかります。入会をお待ちしています。

## クラシック同好会

出野 徹之

日本センチュリー交響楽団で仕事をした経験をもとにクラシック同好会を立ち上げて今年3月で丁度7年。例会の回数は39回、聴いた曲数は150曲を超えています。当初から参加された方、途中から参加された方、本当に有難うございます。今でこそ、何やら知ったかぶりを言っていますが、オーケストラで仕事をするまで私のクラシック音楽歴は、高校時代にレコードを聴いた程度。ただ大型の電蓄で聴いたSPレコード「新世界」はハードカバーの表紙には羽根飾りをつけたインディアンの横顔が浮き彫りになっている、ちょっと洒落たものでした。東京から疎開する時、父が大切に運んだものだったので。その後、LPの「田園」を買った記憶はあるのですが、以後はアメリカ、ヨーロッパのポップスに夢中でした。

クラシック音楽と本格的に向き合ったのは矢張り、大阪(日本)センチュリー交響楽団の運営を引き受けてから。音楽家、指揮者、ソリストとともに仕事をし、多くの曲を聴いているうちに「門前の小僧」で様々な事を覚え、知りました。演奏家を取り巻く環境は決して恵まれているとは言えません。彼らが奏でる音楽が、どれほど私たちの生活を潤してくれているかを実感した経験から、こんな気持ちを是非民放クラブの会員の皆さんに味わっていただきたいと同好会を提案しました。今後とも宜しくお付き合い下さい。

お仲間歓迎 世話人代表 出野 徹之 (KTV)

## 地酒を楽しむ会

雪を見て一杯!

森本 征夫

花を愛でて一杯!

新緑のもとで一杯!

雨音を聞きながら一杯!

真夏の陽を受け一杯!

月を観て一杯!

紅葉を焚き一杯!

しかし、仲間同士で一杯が一番美味しい!!

「酒という字を見るだけにうれし、飲めという人神か仏か」土井晩翠のような酒好きが集まり楽しく飲んでます。

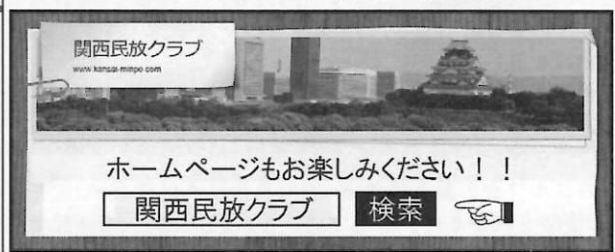
貴方も、貴女も参加しませんか!お待ちしております。

お仲間歓迎 世話人代表 森本 征夫 (MBS)

～下記の同好会でもお楽しみください!!～

囲碁 暮:第2・4月曜日/事務局  
ビールを飲む会:第2土曜日14時～  
夜の散策:随時  
カラオケ:「ビッグエコー」新阪急ホテル アネックス2F

ホームページは同好会活動をサポートします!



ホームページもお楽しみください!!

関西民放クラブ

検索



同好会・ホームページ委員会 委員長 森本 純弘